

「子育て支援 スイカのお礼」 プレゼントします



渡邊友子 / 著 文芸社

今回インタビューに協力いただきました渡邊友子さんの著書「子育て支援 スイカのお礼」を5人にプレゼントします。

子どもを授かったときから母となり、わが子とともに時を過ごしてゆく一。

渡邊さんが2児の母として経験した子育てを、毎日の反省を踏まえながらドキュメントタッチで描かれた子育て日記です。

興味のある人に、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

ハガキに郵便番号、住所、氏名、電話番号、「子育て支援 スイカのお礼プレゼント」を記入して応募してください。

☎・応募先／役場秘書広報課広報係

☎役場／内線 203

☎〒 861-2295

(住所記入不要)

応募期限／8月12日(火)必着

※応募者が多数のときは、抽選いたします。

私たちは「子育て応援隊！」

私たちスタッフは、昭和59年から第1子の2か月児家庭訪問を、平成19年からは全国に先駆けて第2子目以上の「こんにちは赤ちゃん訪問」に取り組んできました。

取り組みの背景には、妊娠中や産後のうつ病、いろいろな感からの赤ちゃんへの虐待、交際中のパートナーから受けるDVが原因で子育て中に離婚するなどが相次ぎ、このような家庭を早期に発見し支援したいという思いがありました。

お母さんたちに負担感や心理面、サポート状況など訪問前のアンケートに答えてもらい、当日の面接でもいろいろなお話を聞かせてもらっています。ご家庭で話せることで、お母さんにとっては安心でき、私たちにとっても、家庭環境に合ったアドバイスができています。



はびねすスタッフ(左) & 子ども課スタッフ(右)

子育ては夫婦を中心に行うものですが、特に女性は妊娠や出産期にこころと身体の変調をきたしやすいものです。自分自身だけでなく、子育てや親の介護などの家族問題まで抱えてしまうこともあり、ますます心身の健康を損ないやすくなります。

家族や地域のみなさんの理解や協力はもちろんですが、保健福祉センターはびねすと子ども課では、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、子育て相談員、子育て支援員ほか多職種の職員が連携しながら、妊娠から子育てまでのサポートを行います。

身近な相談場所として、気軽にお立ち寄りください。

取材を終えて

現代社会では少子化が進み、家庭の中で子育てに触れながら育つ機会が少なくなっているように思います。

子育ての先輩からすれば些細なことであっても、経験の少ないママたちは戸惑い、不安に思い、悩んでしまう。教科書には書いてないことがたくさんあります。

あなたの悩みがあっても、声に出さないと誰も気づいてくれません。

だから、悩んだときは気軽に子育ての先輩たちに相談することで、気が楽になるのではないのでしょうか。自分から一歩踏み出して相談してみましよう。

この町は、楽しく子育てできる町。みなさんを支えるスタッフが待っていますよ。

問い合わせ先

●町健康づくり推進課 健康増進係
(健康福祉センターはびねす内)

☎益城町惣領1470

☎234-6123

●子ども課 子育て支援係

☎286-3111

内線261・262